

第 2 章 出火原因別ごとの状況

1 放火

(1) 放火による火災が19年連続して1位

平成21年中の「放火・放火の疑い」(以下、「放火火災」という。)による出火件数は49件で、前年に比べ14件の増加となっており、全火災の39.2%を占め、平成3年以降19年連続して出火原因の第1位となっている。

放火火災の状況は、表2-1-1に示すとおりである。

表2-1-1 放火火災の状況

平成	出火件数(件)										焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
	合計	建物	焼損棟数(棟)					林野	車両	その他				
			全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計							
17	52	24	6	5	7	12	30	0	8	20	706	49,388	1(1)	3
18	44	13	3	0	6	6	15	4	3	24	259	19,720	2(2)	3
19	37	9	1	0	2	9	12	0	2	26	19	2,280	2(2)	1(1)
20	35	14	2	0	8	6	16	3	2	16	604	26,405	1(1)	1(1)
21	49	21	2	1	4	15	22	1	5	22	509	62,462	4(4)	1

(備考) 1 焼損棟数とは、類焼棟を含む。

2 死者及び負傷者の()は、放火自殺者を表す。

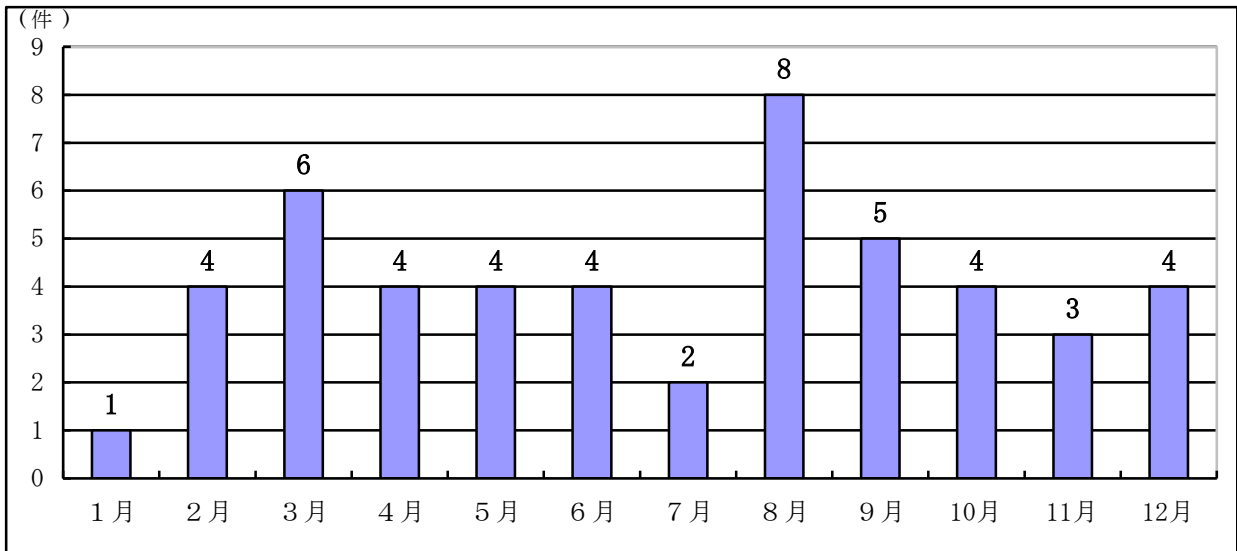
(2) 出火時期

ア 8月に8件発生

平成21年中の放火火災を月別にみると、放火火災49件のうち、8月に8件と最も多く発生し、16.3%を占めている。

放火火災の月別発生状況は、図2-1-1に示すとおりである。

図 2 - 1 - 1 放火火災の月別発生状況

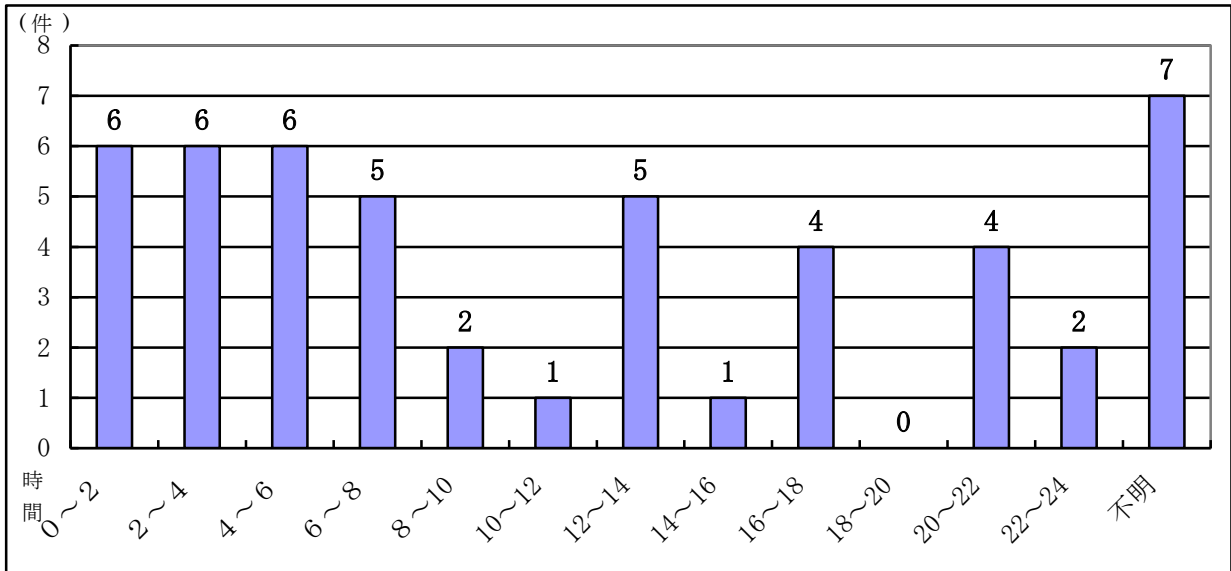


イ 夜間から朝方に 40.8% 発生

平成 21 年中の放火火災を時間帯別にみると、20時から6時までに20件発生し、40.8%を占めている。

放火火災の時間別発生状況は、図 2 - 1 - 2 に示すとおりである。

図 2 - 1 - 2 放火火災の時間別発生状況

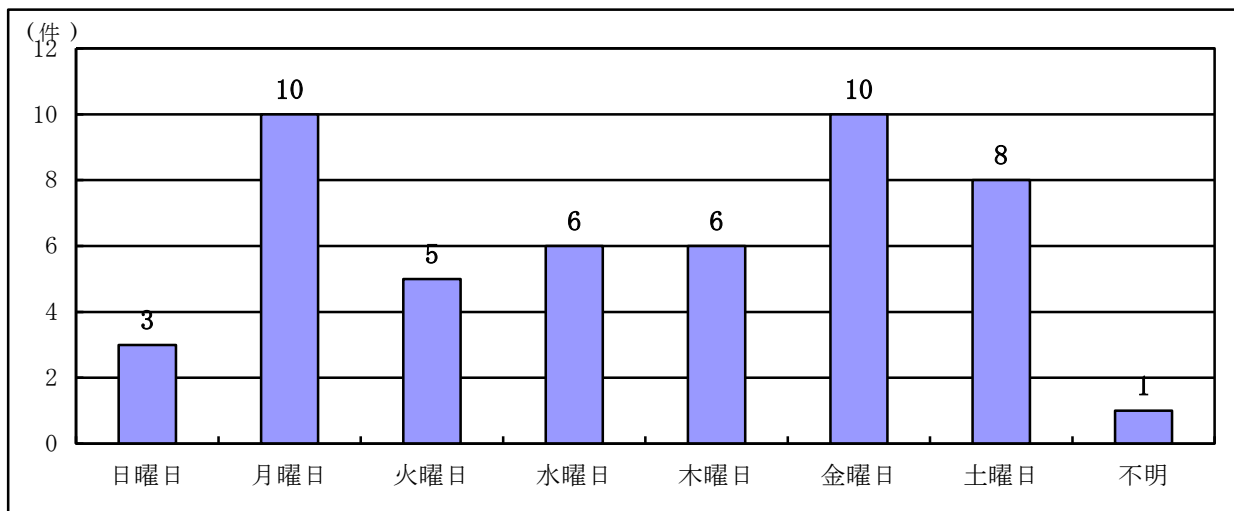


ウ 月曜日と金曜日に 20.4% の 10件発生

平成 21 年中の放火火災を曜日別にみると、月曜日と金曜日に10件と最も多く発生し、20.4%を占め、次いで、土曜日が8件（16.3%）となっている。

放火火災の曜日別発生状況は、図 2 - 1 - 3 に示すとおりである。

図 2 - 1 - 3 放火火災の曜日別発生状況



(3)ライターによる放火が7件

平成21年中の放火火災を発火源別にみると、ライターによるものが7件と最も多く、14.3%を占め、次いで、マッチが1件(2.0%)となっており、残りの41件(83.7%)が不明となっている。

(4)建物内部からの放火が90.5%の19件発生

平成21年中の放火火災を出火箇所別出火状況にみると、建物火災21件では、店舗・客室が7件と最も多く発生し、33.3%を占め、次いで、共用部分が6件(28.6%)となっており、建物内部からの出火件数が19件と90.5%発生している。また、建物火災以外の火災28件では、敷地内・公園が13件と最も多く発生し、46.4%発生している。

平成21年中の放火火災を着火物にみると、建物火災21件では、合成樹脂類が6件と最も多く、28.6%を占めている。また、建物火災以外の火災28件では、枯草・落葉が6件と最も多く、21.4%を占めている。

放火火災における出火箇所及び着火物は、表2-1-2及び表2-1-3に示すとおりである。

表 2 - 1 - 2 放火火災の出火箇所及び着火物 (単位：件)

	合 計	着 火 物												
		紙 製 品	ご み 類	紙 屑 類	織 維 類	車 両 関 係	枯 草 ・ 落 葉	合 成 樹 脂 類	木 質 類	石 油 類	立 木	建 具	そ の 他 ・ 不 明	
合 計	21	2	1	1	1	0	0	6	1	2	0	2	5	
建物火災の出火箇所	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内 部	共用部分	6	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2
		倉庫・物置	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		居 室 内	4	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0
		作 業 場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		店舗・客室	7	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1	2
		管理・休憩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小 計	19	2	1	1	0	0	6	0	2	0	2	5
外 周 部	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0		

(備考)「内部」とは、何者かが建物内部に侵入したものと及び外周部から建物内部に火源等を投げ込んだものを含む。

表 2 - 1 - 3 放火火災の出火箇所及び着火物 (単位：件)

	合 計	着 火 物											
		紙 製 品	ご み 類	紙 屑 類	織 維 類	車 両 関 係	枯 草 ・ 落 葉	合 成 樹 脂 類	木 質 類	石 油 類	立 木	建 具	そ の 他 ・ 不 明
合 計	28	0	5	5	0	3	6	0	0	3	1	0	5
建物火災以外の出火箇所	敷地・公園	13	0	1	3	0	0	3	0	3	1	0	2
	道路・空地	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	車 両 等	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2
	田 畑	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	河川敷等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車庫・駐輪場	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ごみ集積場	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(5) 共同住宅で38.1%の8件発生

平成21年中の放火火災における建物火災のうち、火元建物を用途別にみると、共同住宅が8件と最も多く発生し、38.1%を占め、次いで、物品販売店舗が4件(19.0%)となっている。

放火火災における火元建物用途別発生状況は、表2-1-4に示すとおりである。

表2-1-4 火元建物用途別発生状況 (単位：件)

火元の用途										
合計	居住系				事業系					
	小計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	小計	複合用途	物品販売店舗	倉庫	作業場	旅館・ホテル
21	11	3	8	0	10	1	4	1	1	3

(6) 連続放火は1回発生

平成21年中には、10月に1回連続放火により2件の「その他の火災」が発生しました。

(7) 放火による出火事例

出火事例 「店舗付き共同住宅に放火した火災」

り災物件 鉄骨造3階建てALC板葺きALC板張り
店舗付き共同住宅

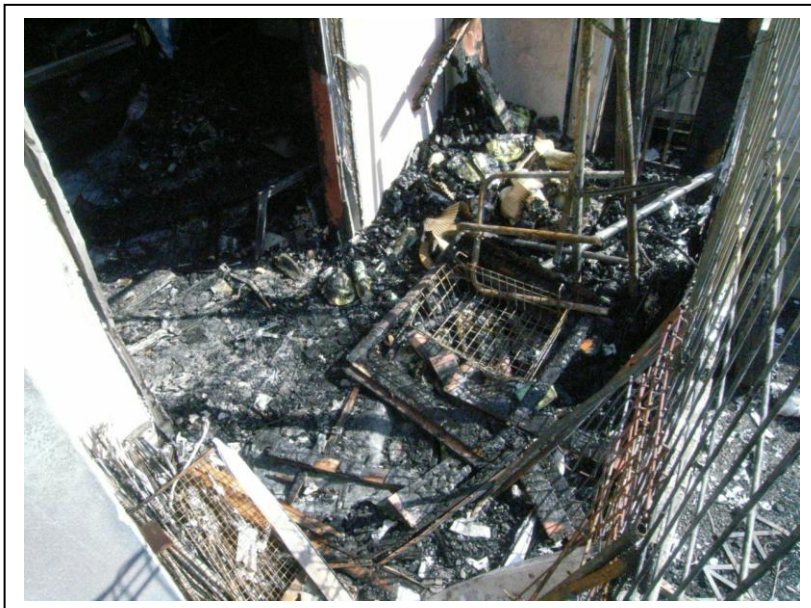
焼損程度 半焼

火災概要 本火災は、木製の物置と不燃ごみを入れた袋が置かれた場所付近に、何者かが侵入し、何らかの火源を用いて放火したものである。

写真2-1-1 「建物が激しく炎上している状況」



写真2-1-2 「木製の物置付近の焼損状況」



2 たばこ

(1) 前年より1件増加

平成21年中の「たばこ」による出火件数は13件で、前年に比べ1件の増加となっており、全火災の10.4%を占めている。

たばこによる火災の状況は、表2-2-1に示すとおりである。

表2-2-1 たばこによる火災の状況

平成	出火件数(件)									焼損床面積 (㎡)	林野焼損面積 (a)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	
	合計	建物	焼損棟数					林野	車両						その他
			全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計								
17	21	10	0	4	2	4	10	2	2	7	223	970	82,153	1	5
18	14	4	0	0	0	4	4	1	1	8	0	0	4,169	0	0
19	18	8	1	1	4	2	8	0	1	9	257	0	13,851	1	1
20	12	6	1	0	3	2	6	0	3	3	143	0	23,802	1	1
21	13	6	0	1	3	2	6	0	1	6	63	0	11,274	0	8

(2) 16時から18時までに23.1%の3件発生

平成21年中のたばこによる火災を時間帯別にみると、16時から18時までに3件発生し、23.1%を占めている。

時間帯別のたばこによる出火件数は、表2-2-2に示すとおりである。

表2-2-2 時間帯別の出火件数 (単位:件)

発生時間	0時~2時	2時~4時	4時~6時	6時~8時	8時~10時	10時~12時	12時~14時	14時~16時	16時~18時	18時~20時	20時~22時	22時~24時	不明
件数	0	0	2	2	1	1	1	0	3	2	0	0	1

(3) 不適當なところに捨て置くが61.5%

平成21年中のたばこによる火災を経過別にみると、「不適當なところに捨て置く」が8件と最も多く、61.5%を占め、次いで、「残り火の処理が不十分」が2件(15.4%)となっている。

たばこによる経過別出火状況は、表2-2-3に示すとおりである。

表2-2-3 経過別出火状況 (単位：件)

	建物火災	建物火災以外の火災
不適當なところに捨て置く	2	6
残り火の処理が不十分	2	0
放置する・忘れる	1	0
火源が動いて接触する	0	1
火源が転倒落下する	1	0
合計	6	7

(4) 落葉、紙屑、ふとん類に着火が15.4%

平成21年中のたばこによる火災の着火物をみると、落葉、紙屑及ふとん類がそれぞれ2件と最も多くなっており、15.4%を占めている。

たばこによる火災の着火物の状況は、表2-2-4に示すとおりである。

表 2 - 2 - 4 たばこによる火災の着火物の状況（単位：件）

	建物火災	建物火災以外の火災
落 葉	0	2
紙 屑	1	1
ふ と ん 類	2	0
衣 類	1	0
畳	1	0
枯 草	0	1
木 切 れ	0	1
ご み 類	0	1
ご み 屑	1	0
そ の 他	0	1
合 計	6	7

（備考）その他は、木製パレット。

（5）建物火災では居室から50.0%の3件発生

平成21年中のたばこによる火災を出火箇所別出火状況にみると、建物火災6件では、居室が3件と最も多く発生し、50.0%を占めている。また、建物火災以外の火災7件では、敷地内が2件と最も多く発生し、28.6%を占めている。

たばこによる出火箇所別出火状況は、表2-2-5に示すとおりである。

表 2 - 2 - 5 たばこによる出火箇所別出火状況（単位：件）

合 計	出 火 箇 所											
	建 物 火 災				建 物 火 災 以 外 の 火 災							
	小 計	居 室	押 入 ・ 納 戸	広 間 ・ ホール	小 計	敷 地 内	河 川 敷 等	駐 車 場	空 地	ご み 集 積 場	荷 台	
13	6	3	2	1	7	2	1	1	1	1	1	

(6) たばこによる出火事例

出火事例 「たばこの不始末により出火した火災」

り災物件 木造瓦葺きボード張り2階建て住宅

焼損程度 半焼

火災概要 本火災は、たばこを吸いながら納戸で作業中、吸っていたたばこを納戸内の収容物の上に置いたまま外出したため、無炎燃焼を継続した後、衣類等に着火し延焼拡大したものである。

写真2-2-1 「建物が炎上している状況」



写真2-2-2 「納戸の焼損状況」

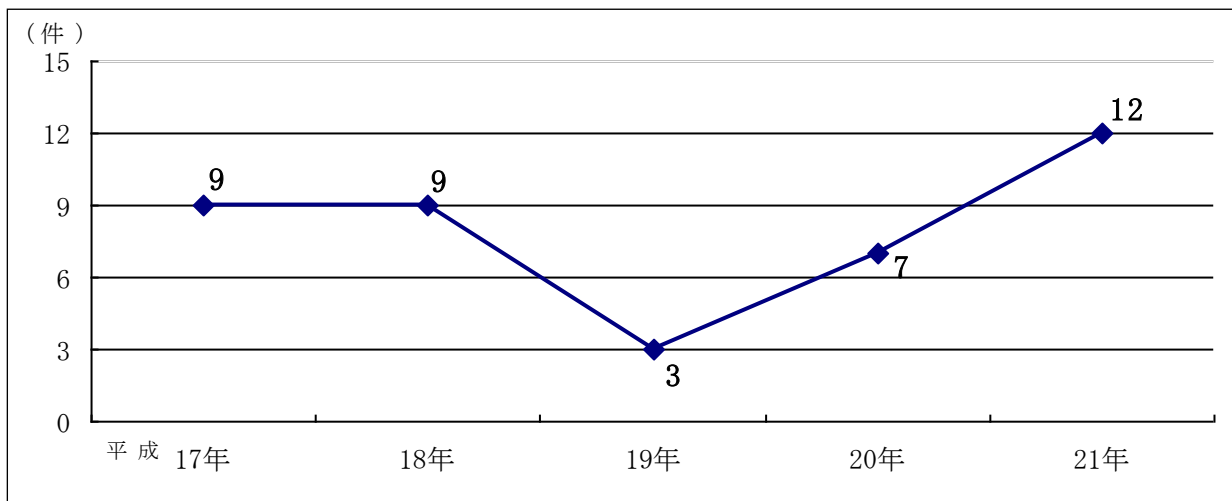


3 火遊び

(1) 前年より5件増加

平成21年中の「火遊び」による出火件数は12件で、3件を記録した平成19年以降おおむね増加傾向となっており、全火災の9.6%を占め、出火原因の第3位となっている。

図2-3-1 火遊びによる出火件数の推移



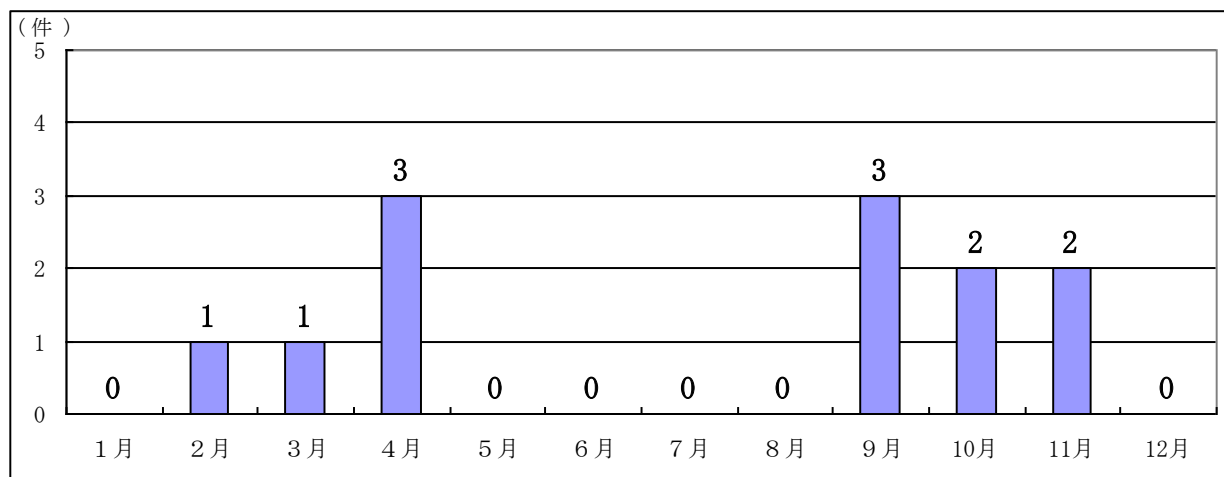
(2) 出火時期

ア 4月と9月に25.0%の3件発生

平成21年中の火遊びによる火災を月別にみると、4月及び9月に3件と最も多く発生し、25.0%を占めている。

火遊びによる火災の月別発生状況は、図2-3-2に示すとおりである。

図2-3-2 火遊びによる火災の月別発生状況

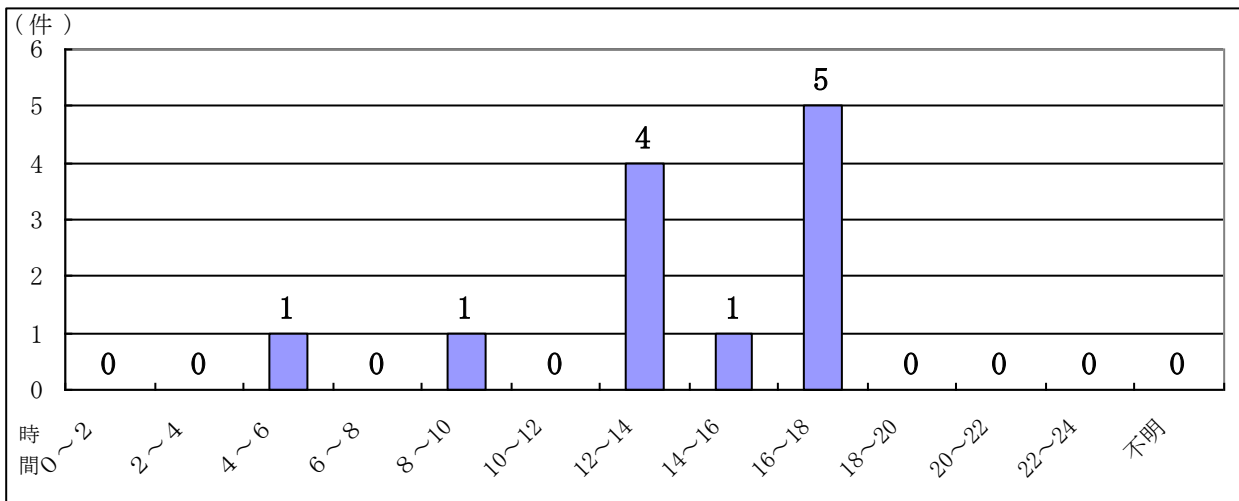


イ 16時から18時までに41.7%の5件発生

平成21年中の火遊びによる火災を時間帯別にみると、16時から18時までに5件発生し、41.7%を占め、次いで、12時から14時までに4件（33.3%）となっている。

火遊びによる火災の時間帯別発生状況は、図2-3-3に示すとおりである。

図2-3-3 火遊びによる火災の時間帯別発生状況

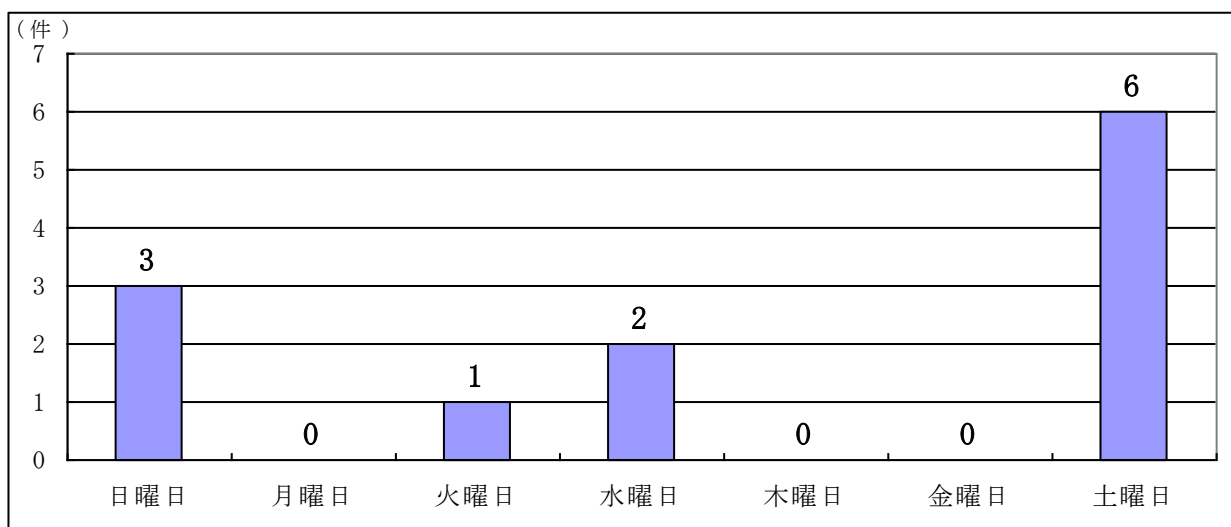


ウ 土曜日に50.0%の6件発生

平成21年中の火遊びによる火災を曜日別にみると、土曜日に6件と最も多く発生し、50.0%を占め、次いで、日曜日に3件（25.0%）となっている。

火遊びによる火災の曜日別発生状況は、図2-3-4に示すとおりである。

図2-3-4 火遊びによる火災の曜日別発生状況



(3) 敷地・公園で66.7%の8件発生

平成21年中の火遊びによる火災を出火箇所別にみると、敷地・公園が8件と最も多く発生し、66.7%を占めている。また、火遊びによる火災の着火物をみると、枯草・落葉が4件と最も多く発生し、33.3%を占め、次いで、ごみ類及び紙屑類がそれぞれ2件（16.7%）となっている。

火遊びによる火災の出火箇所及び着火物は、表2-3-1に示すとおりである。

表2-3-1 火遊びによる火災の出火箇所と着火物

(単位：件)

		合計	着火物											
			紙製品	ごみ類	紙屑類	繊維類	車両関係	枯草・落葉	合成樹脂類	木質類	石油類	立木	建具	その他・不明
合計		12	0	1	1	2	0	4	0	0	0	2	1	1
建物火災	小計	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0
	住宅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	駐輪場	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
建物火災以外の火災	小計	9	0	1	1	0	0	4	0	0	0	2	0	1
	敷地・公園	8	0	1	1	0	0	3	0	0	0	2	0	1
	道路・空地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	河川敷等	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	車庫・駐輪場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ごみ集積場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 火遊びによる出火事例

出火事例 「マッチで火遊びした火災」

り災物件 生垣

火災概要 本火災は、マッチで枯葉に火を付け、火遊びをしていたところ、生垣に延焼拡大したものである。

写真 2 - 3 - 1 「焼損した生垣の状況」



写真 2 - 3 - 2 「マッチの状況（白丸内）」



4 こんろ

(1) 前年より4件減少

平成21年中の「こんろ」による出火件数は10件で、前年に比べ4件の減少となっており、全火災の8.0%を占めている。こんろによる火災のうち、「天ぷら油」が起因する火災が最も多く6件(60.0%)であり、こんろによる火災の大半を占めている。

天ぷら油による火災の状況は、表2-4-1に示すとおりである。

表2-4-1 天ぷら油による火災の状況

平成	建物火災(件)					焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	損害額 (千円)	焼損棟数 (棟)	り災世帯 (世帯)	死者 (人)	負傷者 (人)
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや							
17	10	2	0	6	2	304	44	53,103	10	11	0	7
18	11	0	0	7	4	51	5	2,486	11	10	0	7
19	11	2	0	5	4	220	3	39,098	13	9	0	6
20	12	0	0	7	5	52	130	23,681	12	10	0	0
21	6	0	0	3	3	11	34	1,265	6	6	0	1

(備考) 焼損棟数とは、類焼棟を含む。

(2) 16時から22時までに66.7%の4件発生

平成21年中の天ぷら油による火災を時間帯別にみると、昼食から夕食の時間である10時から22時までに6件すべて発生している。

時間帯別の天ぷら油による出火件数は、表2-4-2に示すとおりである。

表 2 - 4 - 2 時間帯別の出火件数

(単位：件)

発生時間	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
件数	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0

(3) 「放置する・忘れる」が50.0%の3件発生

平成21年中の天ぷら油による火災を経過別にみると、「放置する・忘れる」が3件と最も多く発生し、50.0%を占め、次いで、「過熱する」が2件(33.3%)、「引火する」(16.7%)の順となっている。

(4) 共同住宅が50.0%の3件発生

平成21年中の天ぷら油による火災を用途別にみると、共同住宅が3件と最も多く発生し、50.0%を占め、次いで、一般住宅が2件(33.3%)、併用住宅が1件(16.7%)の順となっており、すべて住宅火災からの発生となっている。

(5) 初期消火率83.3%

平成21年中の天ぷら油による火災における初期消火の状況をみると、出火件数6件のうち、5件で初期消火が行われており、初期消火率は83.3%となっている。また、5件の初期消火のうち、3件で初期消火成功となっており、成功率は60.0%となっている。

初期消火の方法をみると、「水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた」、「寝具、衣類をかけた」がそれぞれ2件となっており、40.0%を占め、次いで、「粉末消火器」が1件(20.0%)となっている。

(6) 天ぷら油による出火事例

出火事例 「天ぷら油から出火した火災」

り災概要 木造瓦葺きアルミサイディングボード張り
一部モルタル塗り平屋建て住宅

焼損程度 部分焼

火災概要 本火災は、ガステーブルの火を消し忘れ、
放置されたことにより、時間の経過とともに
過熱された天ぷら油が発火したものである。

写真 2 - 4 - 1 「建物が延焼している状況」



写真 2 - 4 - 2 「焼損した台所の状況」

